

2023.2.2 (木)
パシフィコ横浜

参加無料

第20回 国土セイフティネットシンポジウム

災害ハザード・リスク情報を事業継続に活かす！

(切迫する巨大災害から企業を守る実践的な取組みについて考える)

我が国では、毎年のように地震災害、異常気象による豪雨災害がさまざまな場所で発生している。また、近い将来に発生が懸念される南海トラフ地震や首都直下地震などが、ひとたび発生すれば国民をはじめ日本経済への大きな被害は免れない。このため、企業は巨大災害への危機感をより一層強く持ち、事業継続への取組みを加速することが急務と考えられる。

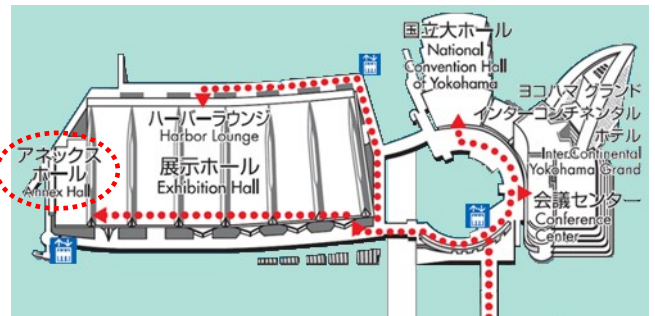
一方、近年の地震防災研究では、避難・産業活動・都市機能の災害シナリオ等を想定したさまざまな知見が得られており、それらの成果が防災対策に役立つ災害ハザード・リスク情報として得られる環境が整いつつある。この新たな情報を活用することで、巨大災害における企業活動のリスクの低減が期待される。

本シンポジウムでは、自然災害に関する最新の知見や防災情報を効果的に活用した実践的な取組みの紹介を通して、防災対策や事業継続についてあらためて考える。

日時：2023年 2月 2日 (木) 13:00~17:00

会場：パシフィコ横浜 アネックスホール

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1
みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩5分
JR京浜東北線など「桜木町駅」徒歩12分
JR東海道線など「横浜駅」タクシー10分



至みなとみらい駅

【プログラム】

■ 13:00~13:15 開会挨拶、来賓挨拶

- 開会挨拶 林 春男 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長
- 来賓挨拶 小林 洋介 文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課 課長
- 山口 博史 内閣府 政策統括官(防災担当) 付 参事官(防災計画担当)

■ 13:15~14:00 基調講演



巨大地震発生の切迫性と災害対応策

平田 直 東京大学 名誉教授
(文部科学省 地震調査研究推進本部 地震調査委員会 委員長)

我が国はこれまで度重なる震災に見舞われ、そのたびに新しい震災対応策が講じられてきた。現状における巨大地震発生の可能性評価、それへの対応策について議論する。

主催：国立研究開発法人 防災科学技術研究所 (NIED)
特定非営利活動法人 リアルタイム地震・防災情報利用協議会 (REIC)

後援：文部科学省、内閣府政策統括官(防災担当)、公益財団法人地震予知総合研究振興会、
特定非営利活動法人事業継続推進機構、日本防災産業会議、一般財団法人DRIジャパン、
一般社団法人レジリエンス協会

防災科研
NIED

REIC

■ 14:00～14:50 講 演 防災研究の最前線



マルチハザード・リスク情報の工学的利活用の推進
～不確実性と多様性を有する南海トラフ巨大地震のリスク評価の活用～

藤原 広行 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
マルチハザードリスク評価研究部門 部門長

将来の発生が確実視され、地震発生の時空間的な多様性を持つとされている南海トラフ沿いの巨大地震に対して、それにより引き起こされる各種災害への事前の備えのため、不確実性を有するリスク評価情報の利活用について考える。



未来の災害対策を見据えるマルチハザード・リスク情報の挑戦

前田 宜浩 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
マルチハザードリスク評価研究部門 主任研究員

大正関東地震、カスリーン台風等、過去に関東地域を襲った巨大自然災害を振り返るとともに、防災科学技術研究所で進める多種多様な自然災害の発生を前提としたマルチハザードリスク評価について紹介する。

■ 14:50～15:30 講 演 企業の防災・事業継続のポイント



企業の防災・事業継続で必要となる情報の内容・タイミングについて
～企業の災害対応ニーズに合った情報支援のために～

丸谷 浩明 東北大学 災害科学国際研究所 副研究所長・教授

企業の災害対応、事業継続を情報の提供により支援する取組は企業にとって大変ありがたい。しかし、必要な情報や必要とするタイミングは業種や企業ごとに異なり、その多様性から情報の提供側が理解するのは容易ではないかもしれない。しかし、企業の対応行動を知ればポイントをつかめると考えられ、その糸口を提示したい。

■ 15:30～16:30 特別講演 事業継続における企業の取組み事例

■ 特別講演① 災害拠点病院における事業継続への取組み

岡本 健 順天堂大学 医学部附属 浦安病院
救急診療科 教授



■ 特別講演② 日本郵便株式会社における事業継続に向けた取組み

岡田 明莉 日本郵便株式会社 総務室 係長

■ 特別講演③ 「災害ポータル」の構築

青江 多恵子 パナソニックオペレーショナルエクセレンス株式会社
情報システム本部



■ 特別講演④ 多様化・激甚災害へのイオングループにおける事業継続

入江 道之 イオン株式会社 総務部 部長

■ 16:30～16:45 講 演 防災科研発ベンチャー企業の挑戦



I-RESILIENCE WAYによる企業レジリエンスの向上
～防災科研の研究開発成果の社会での活用に向けた取組み～

小林 誠 I-レジリエンス株式会社 代表取締役社長

■ 16:45～ 閉会挨拶

早山 徹 リアルタイム地震・防災情報利用協議会 会長

《セミナーお申込み》 第27回「震災対策技術展 横浜」のホームページよりお申込みください。

<https://www.shinsaexpo.com/yokohama/>

感染症対策の一環とし、「事前登録制」を採用しています。
安心安全な開催にむけて、“感染症を出さない” 取組みにご協力をお願いします。



《お問合せ》 リアルタイム地震・防災情報利用協議会 (REIC) 事務局
TEL: 03-5829-6368 E-mail: reic_jimukyoku@reic.or.jp